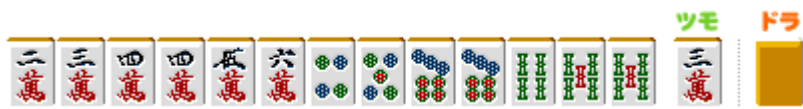


三色同順と一盃口



あなただったらこの形から何を切るだろうか？

東一局、0本場  
西家





何切る？



打 6m 満貫(切り上げ)確定  
or  
打 3m 黙テン(6p の出上がり期待)

どっちで出上がっても、8000 あるから十分!!

なんて答えをはじめは出したが、

あえて反発、というより、

私たちの考えを聞いて欲しい。

良く考えると、手の中には7pが2枚。  
567や678や678に7は使われるが、そのうち7を2牌持っている。

それゆえ6はあまってくる。  
いや、6をツモってきそうな感じがプンプン臭う。

また、  
チップ麻雀ゆえ、この形、この両面待ちを黙で待つのはもったいない。

リーチをせずにはられない。

リーチしてツモって 跳満!!コースの

立直 打 3m

これが私たちの結論だ。





## 結論

以上のことを踏まえて、私たちが出した結論は、三色同順の方が出やすい、と。この結論に至った最大の理由は、”鳴き”です。一盃口と鳴き三色を比較した場合、一盃口 = 鳴き三色、この命題は完全に成り立つようには思えません。符計算の面からも、絶対に = ではありません。ですが、ほぼイコールなのです。何が言いたいかというと、麻雀において、勝つためには、和了する必要があります。和了するためには、和了役、最低1翻の和了役が必要です。それが、一盃口であったり、鳴き三色であったりします。そういう意味で一盃口 = 鳴き三色 なのです。それでは、一盃口について考えてみます。現ルールでは、鳴きを入れた一盃口は認めてられません。



上の二つを比べてみてください。一つ目は一盃口の一向聴です。二つ目は三色同順の一向聴です。どちらもカンチャン2つの受け入れがあります。が、テンパイスピードは明らかです。

一盃口の方は自分で受け入れを一枚使っており、テンパイまで全部で7枚。三色の方は、8枚で、鳴きを入れることもできます。鳴きも含めると、テンパイスピードは2倍も、3倍も早いように感じます。

近代麻雀11・15号発売後、約100半荘のデータですが、集計を行った結果、三色：一盃口 = 3：1の割合でした。

上記を踏まえ、私たちは三色同順のほうが出やすい、という結論に至りました。